

ここいち便りVol.3「始める・仕上げる」(2023年9月1日)

こんにちは。(一財)生涯学習開発財団認定プロフェッショナル・コーチの長井です。

今日から9月。上半期もあと1ヶ月となり、上半期の着地見通しや下半期の計画の見直しなどを進めておられる頃かと思います。粗々出来上がってきた下期の計画に満足できず、見直しや一段の改善を検討されているところかもしれませんね。

私もサラリーマン時代のこの時期は、そんなことをバタバタやっていました。下期の売上や利益の計画が思ったより悪く、みんなで増益案を検討したり。上司に説明する資料の作成に追われていたり。そして、たとえば、4月からここまでの成績が当初のますますな時は、9月分の売上は極力後ろ倒しにして、下期に貯金をするようなことを考えたり。

この「貯金」方式、先輩から最初教わった時は、なるほどなあと思ったものでした。営業なんて所詮数字で追いかける仕事。数字が計画に届かないと月次会議等でやいやい責められます。それを回避するためにあらかじめ準備しておく。先を見た賢いやり方だなあと思ったわけです。と、この手法に洗脳され信奉者となった(😄)私は、9月になると「もう上期のことはいいから。問題は下期」と周囲にメッセージを発信していました。

しかし、最近になって、これで本当に良かったんだろうかと思うことがあります。

確かに、数字の上では上期はほぼ見通しがつき、残り1ヶ月バタバタしてももうほとんど着地には大きな影響は出ない。いわば「勝負あった」です。だから下期の数字に目が行っている。しかし、数字だけではなく、「本来やろうとしていたこと」に目を向ければ、思い描いていた通り進めてこられたのか。その勝負はまだ終わっていないのです。さらには、その「本来やろうとしていたこと」がどこまで進んだのか、その上に下期の活動をまた積み上げていくわけです。9月30日で上期は終わりますが、9月30日と10月1日は連続しています。9月30日までの活動がいい加減だと、良い10月1日は迎えられません。その先に積み上げていく下期の活動は最初からハンデを背負っているようなものになってしまいます。

この1ヶ月、まず上期の総仕上げに目を向けてみませんか。

「上期は終わった、さあ下期のことを考えよう」というのは、ちょっと気が早すぎやしませんか。今日を大事にして初めて素晴らしい明日がやってくる。上期をスタートさせた時のことをもう一度思い出して、その時のような新たな気持ちでこの1ヶ月を過ごしてみられてはいかがでしょう。

ちゃんと仕上げるのが、いい始まりにつながる。今日はそんな言葉をお届けしたいと思います。どうかみなさんがいい1ヶ月をお過ごしになりますように。

(一財)生涯学習開発財団認定プロフェッショナル・コーチ 長井 克之

私の活動状況・考え方などはこちらに：<https://note.com/nagaib61s83>

◆ここいち便りは著作物です。ご友人・ご家族・ご同僚・知人の方等への転送は歓迎ですので、その際はメール丸ごとの形で転送してください。出元を明らかにしない形での一部または全部のコピー・転載はなさないようお願い致します。